



平成27年7月16日
第4号
杉並区立東原中学校

“ 社会に目を向けて生きる ”

校長 渡辺 宏

平成27年度の第1学期の終業式を無事迎えることができました。ありがとうございます。

7月11日(土)の土曜公開授業では、今年で3回目となる企業の人の話を聞く会を行いました。授業をしていたいただいた企業の方々からは、「生徒が真剣に聞いてくれたことに驚きました。」との感想をいただきました。

また、その日の午後に、平成28年度本校へ新入学予定のお考えでいらっしゃる保護者の方々を対象にした学校説明会を開催させていただきました。40名を越える保護者の方々が出席され、学校生活のDVDや生徒会会長の話。そして、校長や教務・生活各主任より学校に関する説明を行いました。なお、平成28年2月13日(土)に、新入生保護者説明会を開催する予定であります。



社会では、岩手県矢巾町で7月5日(日)に町立中学2年男子生徒が電車にはねられ死亡した事故が大きな話題となっています。教育委員会や学校側もいじめを苦にして自らの命を絶つたとされる問題として大きな衝撃を受け、「その実態解明を進めることに全力を挙げる。」と報道されています。大津市の事件以降、川崎市の事件が起きるなど、これまでも中学生の尊い命が奪われる報道が収まることなく続いているのはなぜでしょうか。杉並区では、中学生が自らの力で「いじめをなくす」ことを目的とした生徒会サミットの第3回を8月1日(土)に実施いたします。

梅雨の時期とはいえ九州地方を襲っている豪雨による大きな被害。さらに異常気象とも感じられる真夏日が続き、熱中症で高齢の方々犠牲となっています。特に、高齢の方々多く生活する現在の日本において、「生きることの重大さ」を常に考えて行動している訳ですが、自然現象の結果として起きてしまった悲惨な事実は、復興に向け最大限の力を振り絞り、生き抜こうとしている東日本の方々にも、大きな衝撃や不安を与えることとなるのではないのでしょうか。

本校は今年も、“生きることや命の大切さ”をできる限り多くの方々と考えていくために、10月10日(土)道徳授業地区公開講座を実施いたします。例年のようにゲストティーチャーをお招きして、“生きること”や“命の大切さ”等を学ぶ人権尊重教育としてのお話を聞かせていただきます。全校生徒一人一人が、相手の立場に立ち、支援の言葉や感想等、自分たちでできる社会への貢献活動や支援等のボランティアについて考える機会にいたします。

2020年にはオリンピック・パラリンピックが東京で開催されます。世界各国のいろいろな文化の交流が図られることでしょう。そのためには、「この5年間で国際社会に向けた準備を私たちはどのように取り組んだらよいのか。」大きな課題を担っております。

生徒の皆さんには例年通りの期待として、この長い休みを有効に活用し、知的好奇心を高めることや健康的な人生を過ごすことのできる基礎体力のアップ。さらに、社会における新たな体験活動を多く重ね、自分自身という魅力をさらに伸ばして欲しいと願います。

8月27日(木)2学期の始業式には、全校生徒が元気に登校できますよう、保護者・地域の皆さまのお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

“駅頭広報活動に11人の生徒が取り組みました!!

～社会を明るくする運動～

昨年度は悪天候のため中止となった「社会を明るくする運動」の駅頭広報活動が、7月6日（月）に下井草駅で行われました。3年生に募集をかけたところなんと43人の有志が集まりました。当日の広報活動には駅前の混乱を避けるためにその中の11人が代表として、道行く人に声をかけながらティッシュを配りました。その他の生徒は「Peace & Smile」というプラカードを作成するなど、事前の準備作業をしてくれました。これからも「人のため、社会のために何ができるか」ということを考え、行動することができる人に成長してほしいです。



“災害時に備え、訓練する中学生!!

～中学生レスキュー隊～

今年度は、東原中学校から15名(3年生4名、2年生6名、1年生5名)の生徒が中学生レスキュー隊に応募してくれました。7月5日（日）には、発足式と第1回の合同訓練が阿佐ヶ谷中学校で行われ、7名の生徒が参加しました。荻窪消防署や杉並消防団、東京ガスの指導のもとで、D級ポンプ放水訓練、AED操作訓練、担架や車いすによる搬送訓練、ガスの復旧訓練等の様々な体験をして、知識と技能を身に付けました。



D級ポンプ放水訓練



AED操作訓練



車いすによる搬送訓練

“自分たちの住んでいる地域をきれいに！ ～クリーン作戦 生徒会役員会企画～”

夏休み中の7月21日（火）に、生徒会役員会を中心にボランティアを募ってクリーン作戦を行います。今回は学区域を中心に妙正寺川沿いや、南門周辺の可燃ごみ、不燃ごみ、アルミ缶を拾い学校に持ち帰ります。約80人の生徒がこのボランティア活動に参加表明してくれました。当日は9時に校庭に集合してから、6つグループに分かれて活動します。保護者の皆さまもお時間がありましたら、御一緒に参加してください。

“太陽光発電機・蓄電池設置工事”について

東原中学校は震災救援所としての役割を強化するために、太陽光発電機器と蓄電池を設置することが区の実行計画で決まり、工事が始まります。災害時に必要なエネルギーを継続的・安定的に供給することや、平常時においては発電した電力を自家消費することで電気代を節約することを目的としています。校舎の屋上に太陽光パネル24枚(60㎡程度)だけでなく、太陽光発電の発電量を表示できる「見える化モニター」や記録するパソコン1台が設置されます。また、職員室の照明器具の一部をLEDに取り替えることとなります。再生可能エネルギー利用機器を利用することで、二酸化炭素排出量を抑制できることを生徒に伝え、環境学習にも役立てていきます。